

BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー



高原 淳 (九州大学 先端化学物質研究所 教授)
(JST ERATO 高原ソフト界面プロジェクト)

「生物の表面に学ぶ：撥水、親水、防汚、潤滑のための新しい材料」

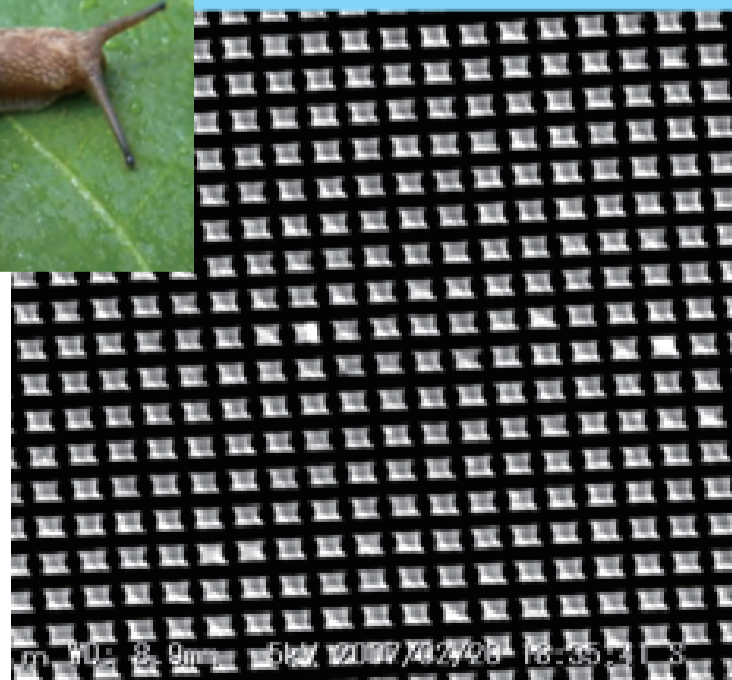
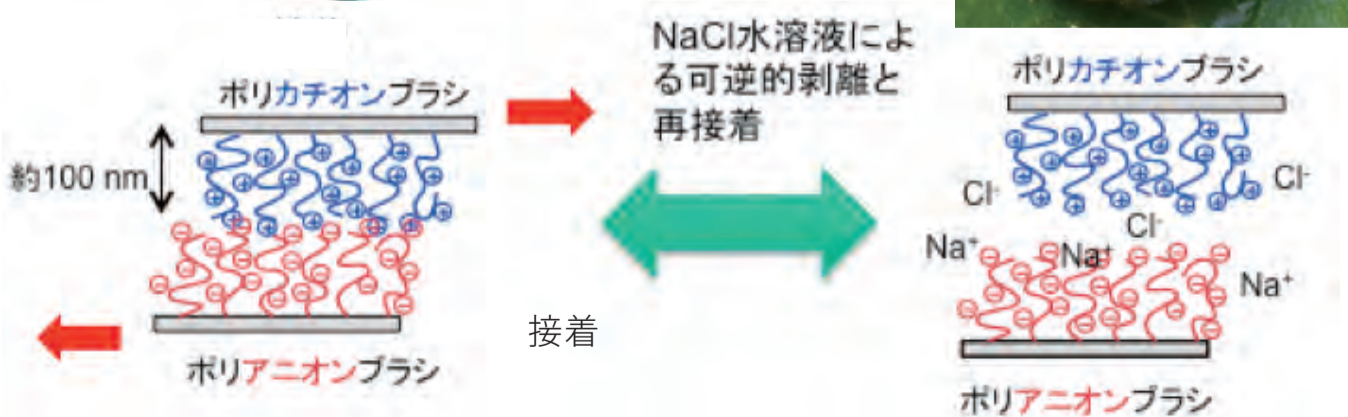
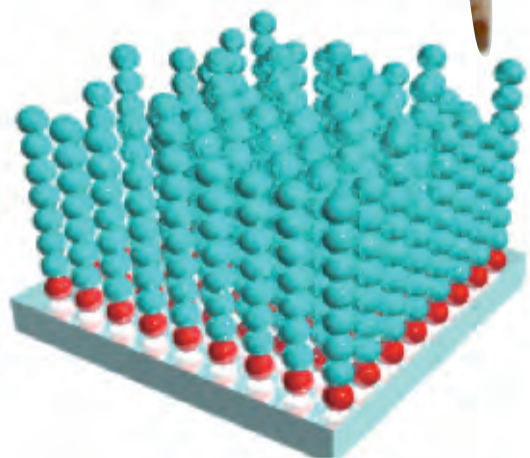
2012年 4月 7日 (土)

会場：北海道大学総合博物館 / 知の交流コーナー

時間：午後1時30分から午後3時30分

生物の表面は様々な場所で、その場所に要求される機能特性を示します。生物の特徴は環境負荷が少なく、低エネルギーで様々な機能特性を示すことがあげられます。私たちもソフトマテリアル（プラスチック、ゴム、ゲル、液晶など）の科学の技術を駆使してようやく生物の示すような表面の機能性を実現することが出来るようになりました。

本講演では①表面の凹凸を利用した撥水性、②水に対して濡れやすい高分子のひげ（ポリマーブラシ）を用いた親水性と防汚性（汚れにくい）表面、③関節のように水を潤滑剤として低い摩擦係数を示す表面、④水を溶剤として自在に接着・剥離を繰り返すことの出来る材料などについて紹介します。



共催：北海道大学総合博物館・バイオミメティクス研究会

北海道大学総合博物館 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp